

エーバーファル 5

Überfall

清水らくは

Rakuba Shimizu

白菜

白菜の値段が下がる頃
いつも君のことを思い出す
たった数日のこと

白菜がおいしくなるまで
待つ時間が
一番幸せだった

騙されるのは
幸福だ

騙されるために
生きている

実はそれほど白菜は好きじゃない
きつと君も騙されてくれたんだ

実はそれほど知りたかったわけじゃない
時間が愛おしかったんだ

必然的に終わっていくものを

受け入れた時

終わっていくことさえ

願望になる

君のように白菜をおいしくできない

そんな時間の中で

今も誰かをだます君を

想像すると楽しい

三角の日々

デコポンに一步足りない存在でデコポンよりも愛されてみる

船着き場日向ぼつこの猫二匹 いてもいいかな人間一匹

釣り人が指さす先にシロイルカあなたの笑顔がまずは幸福

太陽光発電パネルが美しく並ぶ様子が見どころだった

がんと太い橋ができつつある場所で光る私の小さな時計



刈り残された半分
音だけ聞こえる新幹線
よく見る光景と
感じているならば
前に見た時を
思い出せるのか
問い続けるほどの
ことではないけれど

ユーバーファル 5

2017年12月1日発行

発行者 清水らくは

連絡 rakuha@hotmail.com

使用フォント

MS ゴシック

MS P ゴシック

おつとめフォント

Segoe Print

Mistral

うずらフォント